

# 令和6年度第2回青森県地方独立行政法人評価委員会 議事録

日時：令和6年8月26日（月）

10時00分～12時00分

場所：青森県庁北棟2階222会議室

## 1 青森県立保健大学の令和5年度業務実績評価について

[事務局]

本日は、全委員が出席しているため、委員会成立となる。

[曾我委員長]

公立大学法人青森県立保健大学の「令和5年度業務実績評価」の審議に入る。業務実績に関する事業年度評価は、当該事業年度における中期計画の実施状況の調査・分析を行い、その結果を考慮して業務実績全体について、総合的な評価を行うこととしており、当委員会が主体的に作成・決定するものとなる。このため、法人から提出された「業務実績報告書」に基づき、法人ヒアリングという形で、調査・分析を行い、各委員から評価意見を提出していただいた。

資料は委員の意見を事務局がまとめたもの。

この案に基づき修正その他意見交換も行き、最終的な評価書をまとめる。業務実績の評価の進め方としては、項目別評価を審議したうえで、全体評価の審議を行っていきたい。

### (1) 教育に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

過去の年度評価と見比べたところ、今年度は昨年にも増して取り組みが深まっていると見受けられることから、特筆すべき進捗状況にあると判断し評価5としても良いと考える。

[三上委員]

41項目中7項目が年度計画を上回っているが、34項目は年度計画を十分に実施していると評価していることを勘案し、評価は4が妥当と考える。

[伊藤委員]

全体的に年度計画を十分に実施している。特に大学院生に対する研究成果の論文投稿や地域社会にとっての知的資源の還元となる研究発表などの意識付けを行っていることは評価できる。

[香取委員]

大学院生の研究成果をいかに発信するかという面では高く評価できる。全体評価として4が妥当と考える。

[奥村専門委員]

国家試験の合格率や就職率が他県に比べて高い水準を維持していることは評価できる。順調な進捗状況にあることから評価は4が妥当と考える。

[曾我委員長]

継続してみた時に、非常に努力し、また年度計画を上回っている項目が増えていることは北山委員の意見のとおり評価できるものである。ただ34項目が年度計画を十分に実施していると評価していることから今回は評価は4が妥当と考える。

大項目については、評価4にする。

(異議なし)

### (2) 研究に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

順調な進捗状況にあることから、評価は4が妥当と考える。

[曾我委員長]

他にご意見がないようであれば、大項目については、評価4にする。

(異議なし)

### (3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

県内22病院が参加する「新卒看護職の採用力向上セミナー」を開催し、看護学科卒業生の県内定着に向けて病院側の意識改革に結び付く実践的な取り組みを行ったことを評価する。

[伊藤委員]

様々なセミナーを実施し、さらにセミナーについてのアンケート実態調査を行い、工夫された取り組みを展開していることは評価できる。結果を生かし今後の施策の展開をしていることについて、発展性が期待できる

[曾我委員長]

それでは、〈特に評価する事項〉の文章について、「セミナーを開催するなど」を「セミナーを開催し、結果をフィードバックするなど」へ修正する。

(異議なし)

[香取委員]

〈その他の意見〉の文章について、2行目「学生及び教員」を「多様なバックグラウンドを持った学生及び教員」に修正してはどうか。

(異議なし)

[北山委員]

〈特に評価する事項〉の文章について、引き続きキャリア形成枠を評価する旨一文を加えられないか。

[曾我委員長]

県立保健大学さんがやっておられる地域定着枠というのは、単に地域に定着するだけではなくて、地域の中でリーダーシップを取れるような人材育成ということで非常に高度なものをやっておられる。

例えば「地域に必要な人材の輩出については、優れた先進的な取り組みを行っている。さらに学内における活動だけでなく」というような文章に修正することとしたい。

(異議なし)

### (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

[伊藤委員]

内部統制体制が整備・運用されていることやPDCAサイクルが定着していることが評価できる。内部監査手法として、リスクアプローチ監査手法を導入している。モニタリング機能の充実という面から高く評価でき、リスクが高い箇所にアプローチしている面で優れている。この部分を文面に入れていただきたい。

[曾我委員長]

それでは、〈特に評価する事項〉の文章について、「内部監査手法として効率的かつ効果的なリスクアプローチ監査手法を導入するなど、モニタリング機能も充実していることが評価できる」に修正する。

(異議なし)

### (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

[伊藤委員]

職員のコスト意識が向上したことは大きな成果である。コスト面において職員の意識改革に着々と取り組んだことを評価したい。

コスト意識の向上は学生も含まれるのか。

[保健大学]

コスト意識は学生に深くは求めていない現状である。エレベーターに乗ることや燃料のこと等、一般的な省エネ・経費削減対策について、呼び掛ける程度である。

法人化したメリットとしては、節約したものは再投資（研究費、施設充実等）などへ回せる。そうい

う意味では年度で使いきりの意識がまだあるため、財政構造について動画を作成し、決算あるいは補正の時に経営審議会や役員会で繰り返し教職員に説明をした。これにより一層のコスト意識が高まり、それが自分たちの業務に役に立つということを理解してもらった。

[曾我委員長]

それでは、〈特に評価する事項〉の文章について、2行目「学内の省エネ意識」を「教職員のコスト意識」へ修正するとともに、「運営経費の抑制」を「運営経費の抑制や効率的な執行に」へ修正する。

(異議なし)

#### (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況にかかわる情報の提供に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

年度計画を上回っている項目は、広報媒体の活用の項目である。保健大学の広報活動として、教職員だけでなく、学生も広報活動に参加することにより、効果的な広報活動につながっていることを高く評価したい。

教職員に加え、学生も参加した文言に修正してはどうか。

[曾我委員長]

それでは、〈特に評価する事項〉の文章について、3行目「SNSにほぼ毎日」を「教職員と学生が協力してSNSにほぼ毎日」へ修正する。

(異議なし)

[保健大学]

〈特に評価する事項〉の「第三者機関による評価を受審している」という表記について、受審したことを評価いただいているが、受審そのものは義務であるため、評価結果自体を評価していただいたものと理解してよろしいか。

[曾我委員長]

確かにその通りである。「第三者機関による評価を受審していることが高く評価できる」を「第三者機関による評価結果も含め高く評価できる」と修正する。

(異議なし)

#### (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

(異議なし)

[北山委員]

いつ災害が起こるか分からない中、安否確認訓練の応答率が比較的高い水準にあるのは好ましいことである。

### 全体評価

[北山委員]

項目別評価の議論を踏まえ、3段落目「同コースに多数の志願者」を「同コースに多数かつ多様なバックグラウンドを持つ志願者」に修正してはどうか。

(異議なし)

[三上委員]

「志願者を得たこと」で、一度文章を区切った方が理解しやすいのではないか。

[曾我委員長]

それでは「志願者を得たこと」を「志願者を得たことが高く評価できる」に修正し、一度ここで区切る形にする。

(異議なし)

[奥村専門委員]

項目別評価の議論の中でPCDAサイクルを回していることを評価してきたので全体評価に反映させてはどうか。

[伊藤委員]

令和5年度だけでなく中期計画期間を通じて、組織運営・内部統制の基盤がしっかりできる中で、学

士過程あるいは大学院過程において結果が出ている。これまで着々と繰り返しながら、仕組みが定着したことから2段落目に文章を入れてはどうか。

[香取委員]

3段落目にも「全てにおいてPCDAサイクルを回し」の一文を入れてはどうか。

[曾我委員長]

意見を反映して文言を修正したいと思う。

2段落目の第三期中期目標期間（令和2年度から令和7年度まで）の後に、「着実に組織運営・内部統制の基盤を確立してきた」を加え、3段落目の「効果的な広報活動を実現するなど」の後に、「全てにおいてPCDAサイクルを回し」を加える形に修正してはどうか。

（異議なし）

## 2 青森県立保健大学の第三期中期目標期間終了時見込業務実績評価について

[曾我委員長]

続いて「第三期中期目標期間終了時見込業務実績評価」について審議に入る。中期目標期間の終了時見込評価は、当該中期目標期間における中期目標の達成状況見込の調査・分析を行い、その結果を考慮して業務実績全体について、総合的な評定を行うこととしており、当委員会が主体的に作成・決定するものとなる。

事業年度評価と同様、各委員の評価意見を事務局にまとめた資料の「評価書」の案を基に修正その他の意見交換を行い、最終的な評価書へとまとめていく。評価の進め方としては、大項目別評価を審議した上で、全体評価の審議を行っていききたい。

### (1) 教育に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

中期目標期間の4年目として、多くの項目が年度計画を上回って実施していること、また学部においても国家試験合格率及び就職率を高い水準で実現している。評価としては「中期目標の達成において特筆すべき状況にある」ことから5としても良いのではないかと。

＜その他の意見＞で「改善を進める」とあるが、改善を求めるというものではないため、「改善」ではない表現にしてはどうか。

[三上委員]

16項目中7項目が中期目標を上回って達成されているのであれば、評価5でも良いのではないかと。

[伊藤委員]

評価5に限りなく近い4という認識をもっている。

[香取委員]

これまでの実績は素晴らしい。ここと比較し120%の結果で5になるのではないかと。

目標を大幅に上回っている状態で評価5になるのではないかと。

[奥村専門委員]

実績は素晴らしいが、5になるには更に中期目標を上回ることが必要ではないかと。評価5に限りなく近い4という認識である。

[曾我委員長]

意見を踏まえ、4年目の評価としては、4としたい。残りの2年間で5にすることを目標に更なる努力と工夫を期待しているが、限りなく5に近い4という評価である。

また、文言の修正について、＜その他の意見＞の「改善を進める」を「適切な対応をとる」に修正する。

（異議なし）

[北山委員]

中期目標とその評価について、累積的な取り組みの評価が見えにくいですが、4年間通して十分に評価ができる項目がある。例えばPCDAは単年度では難しい。これは令和2年度開始からの積み上げの結果である。

[曾我委員長]

次の中期計画では累積して評価できるような工夫を検討していただきたい。数字的な部分も見えるようであれば、ヒアリングの内容と数値とをあわせて評価ができる。評価のやり方、評価の項目の立て方について、今後検討が必要である。

## (2) 研究に関する目標を達成するための措置

[奥村専門委員]

<その他の意見>の1行目「研修成果」を「研究成果」へ修正してはどうか。  
(異議なし)

## (3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置

[曾我委員長]

<特に評価する事項>の内容をセミナーに関することと、地域定着枠に関することで2分割する形にしたい。  
(異議なし)

## (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

[伊藤委員]

<特に評価する事項>の1行目に主語を入れるため「理事長のリーダーシップ」を「組織体制の強化については、理事長のリーダーシップ」に修正してはどうか。

[曾我委員長]

伊藤委員の意見のとおり修正するとして、強化の文言が続くため、<特に評価する事項>の1行目「マネジメント体制の強化」を「マネジメント体制の整備」に修正したい。  
(異議なし)

## (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

文言は単年度評価の文言に近づけるのがいいのではないか。

[曾我委員長]

<特に評価する事項>2行目「学内の省エネ意識」を「教職員のコスト意識」に修正し、「運営経費の抑制に取り組んでいる」を「運営経費の抑制や効率的な執行に取り組んでいる」に修正する。  
(異議なし)

[伊藤委員]

<特に評価する事項>の1行目、「外部資金の獲得」について大きく目標を上回っているため、数字的な部分も協調してはどうか。

[曾我委員長]

ここでは全体的なところであり、直近3年間の部分では細かいため、「外部資金の獲得も積極的に進める」を「外部資金の獲得も過去の実績を大きく上回っている」に修正する。  
(異議なし)

## (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況にかかる情報の提供に関する目標を達成するための措置

[北山委員]

中期計画の記載3項目の全てが年度計画を上回って実施している。また特筆すべき項目もあるので、評価5でも良いのではないか。

[三上委員]

北山委員の意見に同感である。その通りと思う。

[伊藤委員]

私も評価5でよろしいと思う。

[香取委員]

私も皆さんのご意見と同じで評価5でよろしいと思う。

[奥村専門委員]

私も評価5でよろしいと思う。

[曾我委員長]

それではここは評価を4ではなく、5に変更する。

(異議なし)

[香取委員]

文言の修正として、<特に評価する事項>3行目「YouTubeやInstagram」を「SNS」へ修正してはどうか。

(異議なし)

[曾我委員長]

<特に評価する事項>1行目「学長の強い」を「理事長の強い」へ修正してはどうか。

(異議なし)

#### (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

[伊藤委員]

人権啓発や法令順守について継続的に取り組んでいるが、さらに第四期中期目標期間においても取り組んでいただきたい。<特に評価する事項>から<その他の意見>へ移動し、「人権啓発や法令遵守等については、継続的な周知への取組を期待する」としたいがどうか。

(異議なし)

#### 全体評価

[奥村専門委員]

国家試験の合格率の箇所について、「高い水準で実現している」ことが、継続しているのが分かる文言がよいのではないか。

[曾我委員長]

「高い水準で実現し、維持している」に修正する。

(異議なし)

[北山委員]

単年度評価及び大項目評価に近い文言が好ましいため、「多数の志願者」を「多様なバックグラウンド」などの文言にしたほうがいいのではないか。

[曾我委員長]

「多数・多様な志願者」に修正する。

[三上委員]

「人材の養成」とあるが、「人材の育成」を用いることが多いと思われるがどうか。

[曾我委員長]

大項目とできるだけ揃える形が望ましい。確認したところ、「人材育成」とあり、ここは「人材の育成」に修正する。

(異議なし)

[奥村専門委員]

「重点課題」は「重要課題」の表記ではどうか。

[曾我委員長]

県庁ではどちらを使用するか。

[事務局]

どちらも使用する。「重点課題」はポイントを示すが、「重要課題」は幅広い意味とする。今回はまとめのため、「重要課題」の方がふさわしいのではないか。

[曾我委員長]

ここは「重要課題」に修正する。

(異議なし)

[香取委員]

県民や地域社会への貢献に関して、公衆衛生分野等をリードしていくというニュアンスを付け加えるのはどうか。

[伊藤委員]

「保健分野を牽引して」を追加してはどうか。

[曾我委員長]

意見を反映して

「県民や地域社会への貢献に努められることを期待する」を「県民や地域社会に貢献し、保健医療福祉分野を牽引していく役割を期待する」に修正する。

(異議なし)